

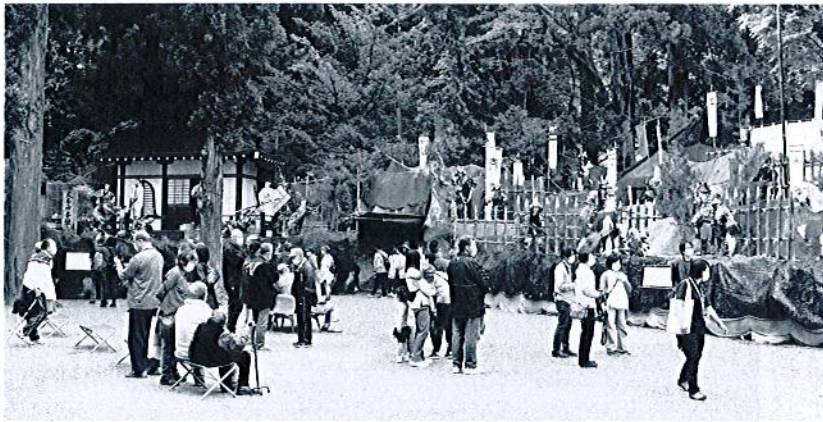
保存会だより

発行
穂高人形・
御船祭保存会

穂高人形ものがたり
盛況のうちに終了する

令和初の御大典七年に一度の盛儀である穂高神社式年遷宮が斎行された。奉祝行事の穂高人形飾り物が「穂高人形ものがたり」と題され四月二十九日の開会式から五月十五日の閉会式まで十七日間神社南神苑にて開催された。

展示五場面は「犀龍と泉小太郎伝説」「忠臣蔵―一力茶屋」穂高睦友社(保尊教室)「関ヶ原の戦い」一真会(小平教室)「本能寺の変」七星会(牛流教室)「二ノ谷の合戦」(源平合戦)穂高健壯団がそれぞれ一年半程にわたる制作準備期間を経て各団体教室の人たちにより煙が出



る演出をするなど迫力のある展示がなされた。
一昨年春より続く新型コロナウイルス感染症により制作は感染症ガイドラインにより気を配っての準備であった。展示期間中も県のコロナウイルス感染症防止安全計画に基づき開催された。
概ね期間中天气に恵まれ観光協会発表では県内外より十五万人の人が訪れ安曇野の伝統ある芸術文化を楽しんでいた。
また、犀龍と泉小太郎伝説の場面は犀龍と泉小太郎の一部を使い国営アルプスあづみの公園の展望テラス一階にて安曇野の伝説を伝える飾り物として展示が行われる事となり七月十四日より八月二十一日まで飾られる事となったが公園より来年の年の始めまで展示が延長された。

三年ぶり賑やかに御船曳き出される

新型コロナウイルス感染症により令和二年から二年間は子供祭や御船祭は祭典のみに縮小して斎行されたために御船曳行は残念ながら行われなかった。本年は穂高神社式年遷宮が斎行され「穂高人形ものがたり」も開催されたこともあり、御船を曳き出し御布令奉納が出来ないかと各方面から声が聞かれ神社と御船奉納各区団体等と当会との協議が数回行われ、大勢の人によって曳き出される大人船の曳行は行わない事とし、感染レベルが高くなければ子供船を曳き出す申し合わせが行われた。

本年も子供祭（九月三・四日）

には御船曳行は無かったが穂高区睦友社「桃太郎」穂高町区一眞会「長篠の戦い」の場面を飾り子供船制作が行われ神社南神苑また町区公民館に飾られた。

例祭（九月二十六・二十七日）は等々力町区穂高町区は感染症対策を行い曳行距離を短縮して行い三年ぶりに子供船三艘が南神苑に曳き揃えられた。

等々力町区

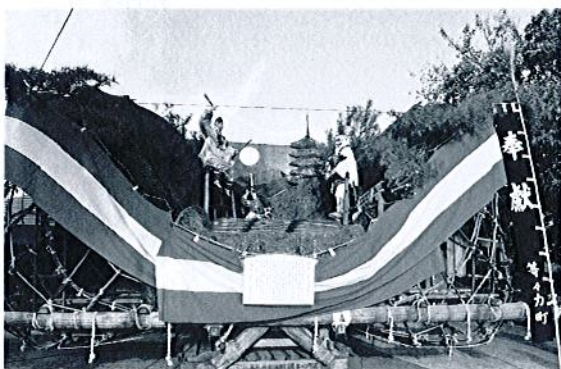
「五条大橋牛若丸と弁慶の出会い」

穂高町区

「富士川の戦い」

穂高区

「会津白虎隊飯盛山の場」



お囃子の練習も各区ともなかなか行いう事が出来ずお囃子の演奏が心配されたが、当日は笛太鼓の音も賑やかに御船曳行と共に御布令奉納がされた。

境内には大勢の人が訪れ「御船が見られて良かった。」「来年こそは大人船のぶつかり合いも見たい。」との声が聞かれた。

最後に本年例祭が新型コロナウイルス感染者が出ず無事に終える事ができ、伝統文化継承のため理解を賜り御船奉納を頂いた関係の皆様方に感謝申し上げます。

文化の秋 伝統ある人形展示

当会の第十三回穂高文化協会穂高文化祭展示が北神苑にて十月二十四日～十一月十三日の三週間展示された。本年は穂高神社境内で行われる菊花展の開催期間に合わせて例年より一週間延長されて展示された。

展示初日の開会式で小林千尋会長は「昨年以上に良い展示が出来ている。人形制作はやればやる程奥が深く大変であるがしつかり努力をしていただいている。また本年は三年ぶりに例祭に子供船が曳き出されて良かった。」と挨拶をした。

来賓の穂高神社穂高光雄宮司は「境内での文化祭展示に感謝致します。本年は遷宮「穂高人形ものがたり」人形飾り



物を行って頂き本当に良かった。評判も非常に良いものでした。また子供船を出して頂き良かった。」と活動に対する感謝の言葉を頂いた。

また穂高文化協会佐伯治海会長は「穂高文化協会は発足より五十五年を迎える。その会員の中でも人形保存会の存在は特別重要である。この境内で展示され感謝しか有りません。特に今回の武者人形は立派である。」と挨拶と講評を頂いた。

各場面説明は保尊教室源平合戦「那須与一扇の的の場」はこの屋島の戦いにて平家軍の船が掲げた扇の的に仲間の弓達者な者の中から若い与一が選ばれ見事に扇を射貫いた事により源氏軍の士気が上がり平家滅亡にと進んでいく場面であると説明がされた。

小平教室「備中松山城の水攻め」日本三大水攻めの一つであり豊臣秀吉が行った戦いである。この攻略により本能寺の変で討たれた織田信長の仇を討つため引き返した大事な戦いと説明がされた。今回は指導者である藤原國廣さんが不在のために生徒が全て考え制作して展示を行った。

牛流教室「承久の乱」は現在放送中の大河ドラマでは終わりに展開されると思われる場面を作った。後鳥羽上皇の前に立つ武者は取って刀を抜かず、上皇が捕らわれる場を表現したと説明がされた。

展示期間中は十月月上旬より始まった全国旅行支援により穂高神社にも多くの人が訪れ人形を見ては「この場面がすごくいいね。」と話をしてる姿が多く見られた。

また開会式に先立ち穂高ライオンズクラブ足立伊織会長より本年も活動援助の寄附金を頂いた。会長から「久々に御船祭に御船が見れて良かった。今後も伝統文化継承のために努力を重ねてもらいたい。」と励ましの言葉も頂いた。



穂高駅と穂高南小の穂高人形

穂高駅では三月二十日小平教室により改札前に展示される人形が飾り替えられた。

本年は「徳川家康出陣の場」で関ヶ原の戦いに向けて出陣する場面で、これは遷宮「穂高人形ものがたり」関ヶ原の戦いに続いており「電車から降りた人が展示を見て境内でそれに続く場面を見てもらいたい。」との思いからこの場面が展示された。作業後すぐに乗降客が展示を見ていた様子があった。

南小学校玄関に展示する人形



展示は春休み期間中三月二十五日に小平教室が飾り替えを行い「巴御前奮戦の場」が飾り替えられた。宇治川にて木曾義仲と巴御前が鎌倉軍との戦場で、巴御前が馬上より薙刀を持って戦う場面が飾られ長野県に關わる人物の話の子供達に知ってもらいたいとの思いから飾られた。



着物御寄進御礼

この一年間に人形や御船の飾り物に必要な着物類の寄付をお寄せいただき心より御礼申し上げます。

着物・帯計四十四枚 萱四枚 小物二点を頂き誠に有難うございます。今後有効に使用させて頂きまします。

寄付者名は左記の通り。(順不同)

松本市 岩浅万里子 安曇野市 花岡まみ

安曇野市 中島靖子 安曇野市 高橋 淨

安曇野市 筒井廣明 安曇野市 古旗洋子

安曇野市 岡田ゆり江 星野雅子

本年も多く寄付を頂きました。

着物・萱類等についての寄付は引き続き事務局穂高神社社務所にて受け付けておりますので、今後もし協力をお願い致します。

※御船制作団体では御船制作に必要な木材「ナル」の手配に年々苦勞しております。ナルを提供頂ける方やナルの生育している山林の所有者等の情報を探しております。ご連絡お問い合わせは事務局穂高神社社務所へお願い致します。